

科目名	音楽基礎 1						年度	2026	
英語科目名	Basic Theory of Music 1						学期	前期	
学科・学年	音響芸術科 1 年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	藤田 美保	教員の実務経験		有	実務経験の職種		実演家		

**【科目の目的】**

簡単な楽譜を目で追いながら音楽を聞ける。基本的な音楽用語・演奏記号・調号や音符を理解する。

**【科目の概要】**

音楽制作に携わる人間として必要な音楽基礎知識・音楽用語・様々なジャンルの音楽の歴史なども学ぶ。まず音楽制作の現場で音楽上でのコミュニケーションを円滑に進めるために楽譜を追えることは基本である。音符や休符・楽譜用語・コード（和音）などを理解していくための授業です。

**【到達目標】**

- A. 基本的な音楽用語・音符休符の種類・テンポや調を理解する
- B. 楽譜を目で追いながら音楽を聴く
- C. 様々な音楽ジャンルや音階等、その特徴や歴史的背景の知識の習得

**【授業の注意点】**

学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	様々な音楽用語や演奏記号を理解できる。転調や曲構成を楽譜から把握できる	オーケストラ・スコアの音楽用語や楽器アンサンブルを理解できる	基本的な音楽用語（強弱記号、テンポ等）を理解できる	曲の流れ・構成が理解できる	音楽用語や曲のキーがわからない
到達目標 B	曲全体の構成や曲調を把握し演奏記号やテンポ変更・複雑な転調等も理解して読譜できる	音楽用語を理解しオーケストラのスコアが読める	基本的な音楽用語（強弱記号・テンポ）を理解し簡単な楽譜を追うことができる	簡単な楽譜を追うことができる	楽譜を目で追えない
到達目標 C	幅広い音楽ジャンルの知識があり、西洋音楽の歴史や作曲家・演奏家・楽曲の知識がある	幅広い音楽ジャンルに興味を持ち世界中様々な楽器や独特な音階がある事を知っている	幅広い音楽ジャンルに興味を持ち、聞いている	自分の好きな音楽ジャンルやアーティストへの作品に興味を持っている	様々な音楽ジャンルがあることを知らない
到達目標 D					
到達目標 E					

**【教科書】**

プリントを配布（A4で約30ページ）

**【参考資料】**

特になし

**【成績の評価方法・評価基準】**

評価基準はルーブリック評価に基づいて行う。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		音楽基礎 1			年度	2026
英語表記		Basic Theory of Music 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	音部記号・拍子記号	音部記号・拍子記号についての理解	1 音部記号と大譜表	音部記号と音程の理解	3	
			2 五線と小節線	五線の音階・小節線と拍子の理解		
			3 拍子と拍子記号	様々な拍と拍子の理解		
2	音名の読み方音符と休符	音名・伊語読み（ドレミ）の日本語読み・英語読み・独語読み	1 音名	英語読みと独語読みを覚える	3	
			2 臨時記号（#, b）	臨時記号の英語読みと独語読みを覚える		
			3 音符と休符の種類	音符と休符の種類（付点・複付点）の理解		
3	シンコペーション（切分法）を含んだリズム・連符	連符と拍の理解	1 様々な連符	3連符～10連符と拍の関係の理解	3	
			2 弱起とシンコペーション	アウフタクトの曲・強拍と弱拍・シンコペーションの理解		
			3 強拍と弱拍アクセント	簡単なリズム符を読める		
4	音階とそれぞれの音名・機能	音の名称・ディグリー表記	1 音階とディグリー表記	音階の度数とローマ数字表記の理解	3	
			2 音の機能と呼び方	主音 (Tonic) 属音 (Dominant) 等の機能の理解		
			3 長音階と短音階	長音階と短音階の種類（付点・複付点）の理解		
5	インターバル（音程）1	音程の理解	1 音程の種類	完全音程・長音程・短音程・増減音程の理解	3	
			2 12平均律と純正律	ビタゴラス音律音楽の起源の理解		
			3 2度音程	7音階と2度音程の種類（付点・複付点）の理解		
6	インターバル（音程）2	音程の理解	1 3度音程	2度音程の種類（付点・複付点）の理解	3	
			2 6、7度音程	6度・7度音程の種類（付点・複付点）の理解		
			3 完全音程	1・4・5・8度（完全音程の種類）の理解		
7	インターバル（音程）3	音程の理解	1 増・減及び重増・減音程	増・減及び重増・減音程の理解	3	
			2 和音の転回	和音の転回とインターバルの理解		
			3 音程のテスト	音程の理解度チェック		
8	3和音とコードネーム	コードシンボル	1 ダイアトニックコード	全音階と3和音の理解	3	
			2 3和音とコード表記	コードの理解		
			3 色々なコード進行	様々なコード進行の曲を聞きコード進行について理解する		
9	和音の機能	和音の機能と特徴	1 T・D・SD	Tonic・Dominant・Subdominantの機能の理解	3	
			2 メジャーとマイナー	メジャーコードとマイナーコードの理解		
			3 カデンツ	終止形（ドミナントモーション）の理解		
10	4和音とコード	セブンスコード	1 7度音程と七の和音	3和音と4和音の響きの違いがわかる	3	
			2 m7とM7	メジャーセブンスとマイナーセブンスの響きの違いがわかる		
			3 4和音の種類	4和音の色々な種類を理解する		
11	コードトーンとテンションノート	テンションノート	1 テンションとは	テンションノートとコードの響きの理解	3	
			2 テンションコード	テンションノートの理解		
			3 オルタートテンション	テンションノート・コードの種類（付点・複付点）の理解		
12	トライトーンとドミナントモーション	和音の役割	1 トライトーン	安定と不安定な和音（不協和音と協和音）の理解	3	
			2 強進行	終止形・カデンツの種類（付点・複付点）の理解		
			3 よく使われる音楽用語	レコーディングやライブの現場で使われる用語の理解		
13	調と調号	五度圏と調	1 五度圏	五度圏図を書ける	3	
			2 近親調と遠隔調	調と調の関係・長調と短調について理解する		
			3 調号とは	キーとは何か・転調と移調について理解する		
14	音階（スケール）	メジャースケール・マイナースケール	1 長音階と短音階	代表的な音階の種類（付点・複付点）の理解	3	
			2 ダイアトニックスケール	全音階の仕組み（7音階）について理解する		
			3 チャーチモード	教会旋法と音階の歴史について理解する		
15	前期まとめ	前期の理解度チェック	1 音名	英語読みと独語読みができる	3	
			2 インターバル	様々な音程を理解する		
			3 調号	マイナーキーとメジャーキーの違いについて理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等